



学校通信

花となれ 光となれ

い き つ い し や く し ん
為己 遂志 躍清

令和7年9月19日

第12号

一関市立藤沢中学校

力をつけた新チーム！～一関地方新人大会～

9月13日（土）～15日（月）、一関市内各会場にて一関地方中学校新人大会が開催されました。3年生が引退して初めての公式戦、夏休み以降短い期間でしたが、2年生がリーダーシップをとってチームをまとめ上げ、各部とも素晴らしい闘いを展開してくれました。

結果、ソフトボール部（千厩・大東・東山と合同）が優勝、ソフトテニス男子とバレーボール男子（磐井と合同）が2位、卓球男子が3位で入賞を果たした他、藤沢中の生徒が所属するサッカーの千厩FCとバレーボール男子のいわいクラブファイターズが優勝、女子のBLAISE一関が2位で県大会の出場権を獲得しました。また惜しくも県大会出場権を得られなかった部でも、新チームとして今後に期待のできる精一杯のパフォーマンスを見せてくれました。

保護者の皆様におかれましては、当日の応援、またこれまでの活動への様々なご支援、誠にありがとうございました。

県大会は10月18～19日（前期）及び11月15～16日（後期）に開催されます。選手のさらなる健闘を期待します。



大会結果(団体 ☆印は県大会)

ソフトボール (千厩・大東・東山 と合同)	対花泉・桜町・一関・関一附属 11-1 勝利 優勝☆	卓球男	予選リーグ 対萩荘 2-3 惜敗 対一関東 3-0 勝利 対磐井 3-0 勝利 対花泉 3-0 勝利 決勝トーナメント 1回戦 対平泉 3-2 勝利 準決勝 対大東 0-3 惜敗 第3位
ソフトテニス男	予選リーグ 対桜町 3-0 勝利 対一関東 3-0 勝利 決勝トーナメント 準決勝 対千厩 2-0 勝利 決 勝 対一関協会 1-2 惜敗 第2位☆	卓球女	リーグ戦 対関一附 2-3 惜敗 対大東 0-3 惜敗 対磐井 3-1 勝利 対巖美 0-3 惜敗 対桜町 3-2 勝利 対萩荘 0-3 惜敗 第4位
ソフトテニス女	個人戦のみの出場 健闘するも惜敗	バレーボール男 (磐井と合同)	決勝 対いわいクラブファイターズ 0-2 惜敗 第2位
サッカー	予選Aグループ 対桜町・花泉 0-0 (PK 8-9) 惜敗 対ブリジャール 0-2 惜敗		
野球 (東山と合同)	1回戦 対巖美・桜町 1-4 惜敗		

(個人 ※県大会出場のみ)

ソフトテニス男	第3位☆ 伊藤鉄平・千葉煌玖 組	熊谷快斗・佐川叶斗 組
---------	-------------------------	-------------

(地域クラブ ※ 藤沢中生徒所属のみ)

※サッカー (千厩FC)	予選Bグループ 対関一附属・平泉・萩荘・一関 7-0 勝利 対ACミレグリア 5-1 勝利 決勝トーナメント 準決勝 対花泉・桜町 5-0 勝利 決勝 対ACミレグリア 5-0 勝利 優勝☆	バレーボール男 (いわいクラブ ファイターズ)	決勝 対磐井・藤沢 2-0 勝利 優勝☆
		バレーボール女 (BLAISE一関)	予選Bグループ 対花泉 2-0 勝利 対萩荘 2-0 勝利 決勝トーナメント 準決勝 対千厩・大東・室根 2-0 勝利 決勝 対磐井 0-2 惜敗 第2位☆

誘惑に負けないで頑張れ！～家庭学習強化週間～

9月 17～24 日は藤沢地域小中学校児童生徒の家庭学習習慣の確立と学力向上を目的に設定された「家庭学習強化週間」です。この取り組みでは8日間の期間中に「藤っ子まなびプラン」で設定した目標学習時間(1・2年生90分、3年生120分以上)を達成した日が6日間以上になることを目標の目安としていますが、中間テストを直前に控えた時期であることを考えると、部活動がない平日 3 時間、休日 5 時間ほどは頑張っているところです。しかし今までのアンケート調査などの結果を見ると、テレビやスマホ、ゲームなどの誘惑から逃れるのもなかなか難しいようです…。

そこでVR体験やeスポーツを通じて交流を図り、さらに地域おこしにも取り組んでいるグループ「FESTnoARE (フェストノアレ=Fujisawa Enjoy Style Team no ARE)」の中学生メンバーである6人に、メディアやゲームの誘惑に負けない工夫をインタビューしてみました。彼らはこのようなグループで活動しているだけあって全員ゲームが大好き。どうやって学習と勉強を両立しているのでしょうか。

Q1:ふだん(平日)は勉強とゲーム、どれくらいしていますか？

「勉強は1.5～2時間、ゲームは金曜日だけ2時間。」(勝太郎さん)←メリハリがあっていいですね。

「勉強は1時間程度、ゲームは3時間。これからは勉強を2～3時間したい。」(翔吾さん)

←受験生がんばって！

Q2:ゲームの時間にどうやってけじめをつけていますか？

「途中でも勝手に切れる設定にしておく。」(光惺さん)←なるほど、そういう機能もあるんですね。

「一度手の届かないところに離す。」(翔さん)←見えるところにあっても我慢できるんですね。強い！

Q3:勉強の仕方で気をつけていることはなんですか？

「まずできるところからやって、答えを簡単に見ない。」(敢太さん)

←できるところ、できないところをはっきり区別して、その後答えや解説を見るのがいいですね。

「復習を教科ごとにノートにまとめて、時間をおいて覚える。勉強して、ゲームして、また勉強する。」

(綾人さん)←最後に勉強で終わるのがいいですね。逆だと覚えた内容を忘れてしまいます。

上記の生徒たちの回答について、もっと家庭学習をたくさんやるべきで、ゲームなどの時間を短くすべきだとか、学習法についてはより効果的な方法もあるはずだとか、さまざまなご意見もあるかと思いますが、しかしここで彼らを評価したいのは、彼らが自分たちなりに自分の生活を管理し、より良い生活を営んでいこうという姿勢が見えることなのです。

家庭学習によってより多くの知識を定着させることも大事ですが、それ以上に自分の目標に向かって、計画をつくったり、やりたいことをセーブしたり、そういう力を中学校までに身につけて欲しいと思っています。全校生徒が、家庭学習強化週間をきっかけに自らの生活を振り返り、改善に努めて欲しいと思っています。

